

国内の複雑な海底地盤に対応したケーブル埋設技術開発

1. 事業概要（風力エネルギー分野）

〔研究開発内容〕

①複雑地盤（礫混じり等）に対応する、ウォータージェット(WJ)式ケーブル埋設の「埋設能力評価式」を構築（室内土槽＋実海域で検証）。

②埋設時の濁りをROV・USV・マルチビーム等で3D・リアルタイム計測し、シミュレーションに反映して環境管理を高度化。

〔背景・経緯〕

①洋上風力拡大で、地盤不一致による埋設不能・遅延がコスト・工期リスクとなっている。

②濁りデータ不足により、環境影響予測の不確実性が合意形成リスクとなっている。

〔狙い、波及効果〕

①定量評価で施工条件を最適化し、コスト・工期リスクを低減。

②3D監視＋シミュレーションで、環境評価の信頼性と説明性を向上。

〔事業化〕

SPC・EPC向けに、設計最適化・埋設施工・環境アセス・モニタリングをパッケージ提供。港湾土木等の海洋工事にも環境サービスを展開。

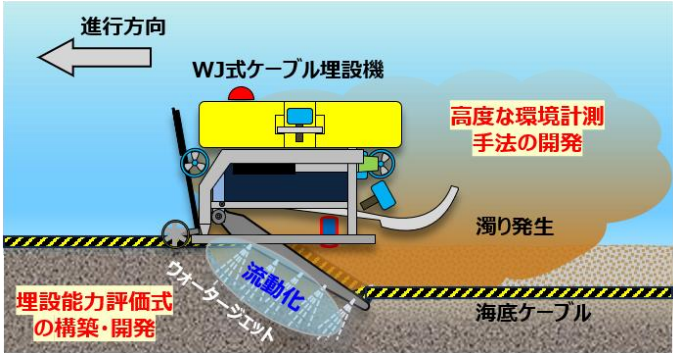
2. 東洋建設株式会社

本社所在地	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
設立／資本金	1929(昭和4)年7月3日／140億円
従業員数	1,673名（西暦2025年4月現在）
事業内容	総合建設業（海上・陸上土木、建築）、不動産事業等

3. その他機関

共同提案者：海洋エンジニアリング株式会社

・海底ケーブル埋設時の濁りの観測手法の開発を担当



図：ケーブル埋設技術開発の概念図